

# フードテック・スマートバレー

「食」に関するイノベーション創出の場として「フードテック」分野における研究施設・生産施設の集積を目指し、付加価値の高い次世代型産業用地「スマートバレー」の創出を図ります。

## 取組みの基本方針

### 1 緑あふれる産業用地の創出

- 土地効率重視の従来型工業団地とは異なる、ゆとりある環境共生型の景観形成を目指します。
- 道路、公園等においてはグリーンインフラ推進の観点から緑化を重視した計画とします。

### 2 “フードテック”を中核とした企業誘致

- 「食」を中核とした幅広い分野での研究、産業の集積地を目指します。

#### 誘致企業ターゲット

農業生産、食材、次世代型食品、外食、食品工場、流通、IoT調理家電、スマートキッチン、食品包装、急速冷凍技術、食品自販機、フードロス対策、ヘルスケアデータ 等

### 3 イノベーション創出に向けた産学官民連携の展開

- スタートアップ企業集積の場づくりを推進し、インキュベーションの仕組みづくりを目指します。
- 自治体・大学・進出企業・地域の方々との連携・コミュニティ・交流の場としての活用・展開を目指します。
- 魅力的な配置計画によりフードテック企業進出促進への相乗効果を図ります。

### 4 次世代型産業用地スマートバレーの創出

- フジタが事業主のPPA事業を実施し、エネルギーの地産地消を目指します。
- エネルギー事業者と連携し、食品残渣を利用したバイオガスの提供や、CGSによる地区内エネルギーのレジリエンス強化に取組みます。
- 通信事業者と連携し、産業用プライベート5G環境の構築を目指します。

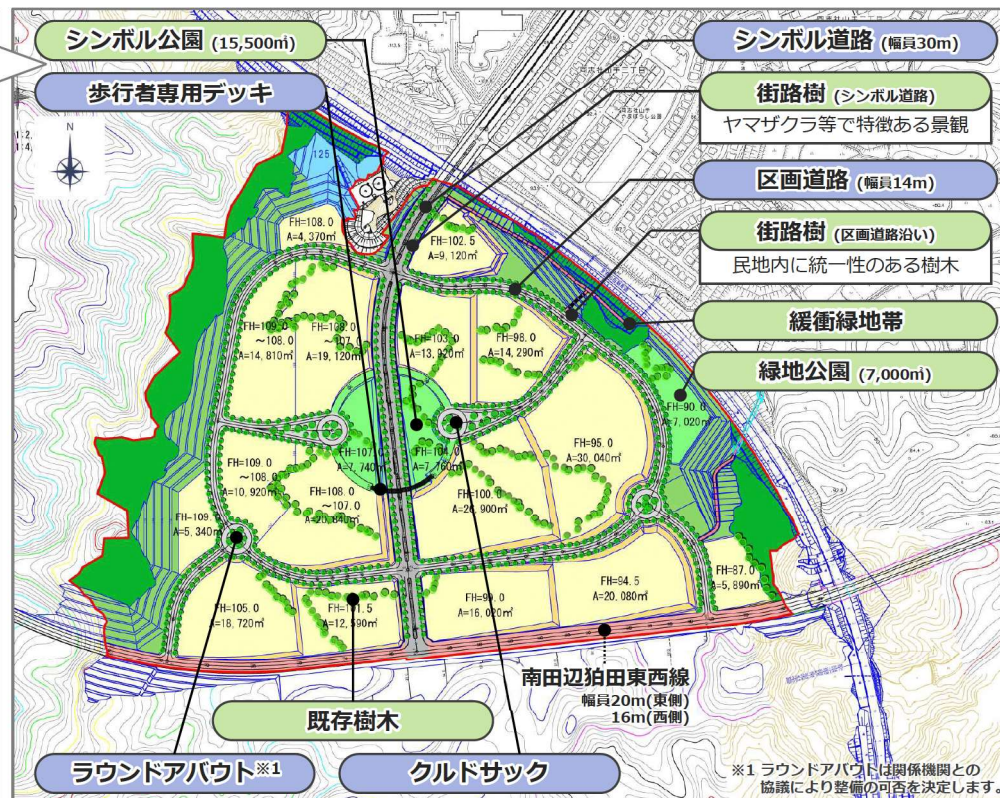
## 土地利用計画 緑豊かな環境共生型のまちづくり・周辺環境と調和した景観整備を実施します。

### シンボル公園

- 就労者や来訪者・地域の方々の緑あふれる憩いの場
- 進出企業や企業と地域との交流の場としてイベント等が開催可能なオープンスペース
- 避難場所としての活用を視野に非常時用の設備等を整備

### 歩行者専用デッキ

- シンボル道路の東西に位置するシンボル公園を繋ぎ回遊性の向上に貢献



## 景観配慮方針

### 緑化空間の創出

- 建築物・駐車場等は積極的に緑化
- 道路沿いは統一性のある連続的な緑化空間の創出を目指す

### 花木植栽の計画

- 四季を通じて楽しめる計画
- シンボル道路の植樹帯にはヤマザクラ等で特徴的な道並み景観を形成

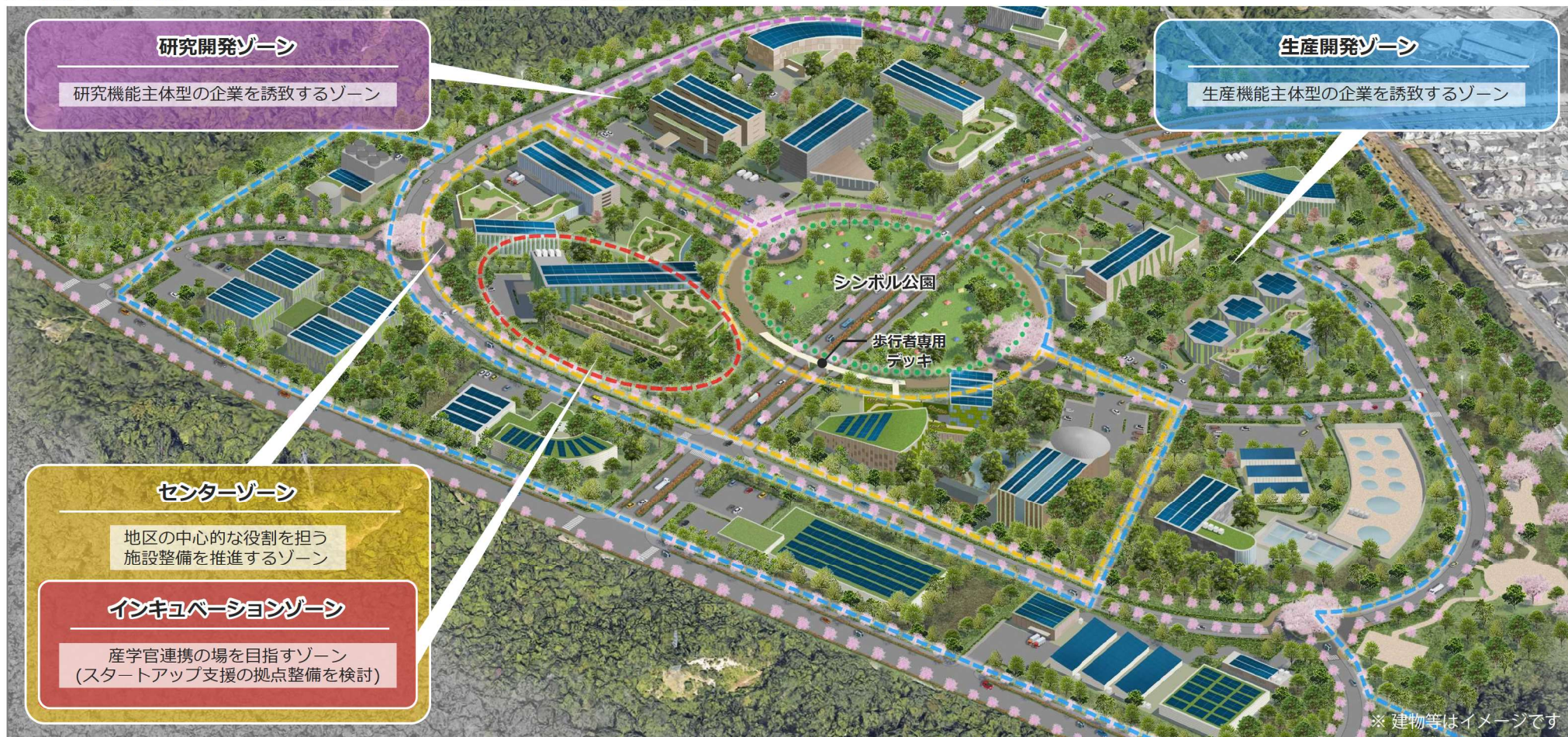
### 公共空間の景観配慮

- 地区内は全て無電柱化
- 歩道には景観に配慮した舗装等を採用し安全で快適な歩行者空間を創出

### 景観に係るルール策定

- 各種ガイドラインや協定等の導入・制定を目指す





## 地域価値向上に関する独自提案

### ① 次世代産業用地“スマートバレー”の創出

#### 太陽光PPA事業

進出企業の建物屋根に太陽光発電設備(PV)を設置し進出企業に売電、余剰電力の蓄電によって非常時のBCPIに貢献します。

#### バイオガス、CGSの地区内利用

食品残渣を利用したバイオガスの地区内利用により地球温暖化防止・廃棄物減量に努めると共に、CGS(ガスコージェネレーションシステム)を利用した非常時の発電によりBCDの構築等に努めます。

#### プライベート5G環境の整備

地区内にセクターアンテナを配置してプライベート5G環境の早期整備を目指し、進出企業の事業・研究をサポートします。

### ② エリアマネジメントの実施

フジタがコーディネーターとなり、産学官民連携のエリアマネジメントを実施し、新たなまちの魅力や価値を将来にわたり維持・向上させることをご提案します。

#### エリアマネジメント組織



## 取り組み体制

本事業では多様な企業とコンソーシアムを組み、フードテック・スマートバレーの実現に向けて事業を推進します。

#### 協力・連携企業

- ・ 大和ハウス工業株式会社
- ・ ソフトバンク株式会社
- ・ 東急不動産株式会社
- ・ Daigasエナジー株式会社

フジタは事業終了後もエネルギー管理事業者として本地区に継続的な関わりを持ち続け、エリアマネジメントを通じて持続可能なまちづくりに貢献します。